

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと表現（音楽）		科目コード	20Y370	担当者	白石 景一			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独			
			授業区分	演習							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目			領域に関する専門的事項（表現）			免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
当該科目では、領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊び（特に音楽に関する）と、その環境構成などの専門的事項についての知識・技能を身につける。						1. 「 良心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	乳幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置づけについて要領・指針を基に説明できる。										
2.	表現を生成する過程について理解している。										
3.	幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感することができる。										
4.	協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。						◎	◎			
5.	様々な音楽的表現の基礎的な知識技能を生かし、幼児の表現活動に展開させることができる。					成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（40%） 受講態度（40%） 提出物（20%）					
乳幼児の遊びや生活における領域「表現」について理解した上で、音楽的表現活動を援助する上で必要と思われる音楽的基礎知識・技能を演習及び講義により継続的に指導する。1年前期15回の授業の中で受講生の習熟度や進度により柔軟に対応する。											
課題等への対応						授業外学修時間					
ほぼ毎時間課題の添削を行う。						15時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	オリエンテーション「子どもと表現」についての授業構成と内容について説明する					テキストの楽典・教育要領の予習					
第2回	読譜の基礎と楽典① 幼稚園教育要領を基に幼児の発達と表現理解する					テキストの楽典・教育要領の予習					
第3回	読譜の基礎と楽典② 幼児の発達と音楽表現について考える①					楽典の課題、表現について予習					
第4回	読譜の基礎と楽典③ 幼児の発達と音楽表現について考える②					楽典の課題、表現について復習					
第5回	読譜の基礎と楽典④ わらべ歌あそび 幼児の発達と音楽表現について考える③					楽典の課題、わらべ歌あそびの予習、発達と表現の予習・復習					
第6回	読譜の基礎と楽典⑤ 子どもの歌の歌唱法①					楽典の課題、音名について予習					
第7回	楽典 オルフ、コダーイの音楽教育「おんがくづくり」子どもの歌の歌唱法②					子どもの音楽教育の予習					
第8回	楽典 ダルクローズの音楽教育「おんがくづくり」の指導法 子どもの歌の歌唱法③					楽典の課題 子どもの歌予習					
第9回	音階と和音① 簡易楽器や手作り楽器の基礎知識と表現①					楽典の課題 拍子・リズムについて予習					
第10回	音階と和音② 簡易楽器や手作り楽器の基礎知識と表現② 子どもの歌の伴奏法①					楽典の課題 子どもの歌の練習					
第11回	音階と和音③ 子どもの歌の伴奏法②					楽典の課題 音階について予習					
第12回	音楽的表現活動の事例に沿って考える①（ICTや映像資料などの活用含む）					楽典の課題 グループワーク					
第13回	音楽的表現活動の事例に沿って考える②（ICTや映像資料などの活用含む）					楽典の課題 グループワーク					
第14回	幼児の総合的表現活動					楽典の課題 グループワーク					
第15回	基礎的な楽典と幼児の音楽表現についてまとめ					楽典の課題 定期試験準備					
試験	定期試験を実施する										
教科書	こどものうた200 チャイルド社 最新・幼児の音楽教育（幼稚園教育要領・保育所保育指針） 朝日出版社					受講生へのメッセージ 「子どもの歌と伴奏法」「保育と音楽表現」の基礎として、教育実習・保育実習の準備として、なにより良き保育者を目指して一緒に勉強しましょう。					
参考書等	なし										